

VPCC 4.1 + XenDesktop 5.5, 5.6 VPCC+XD (CMO 連携あり)

オペレーションガイド

—第 1 版—

改版履歴

版数	発行日	内容
第 1 版	2012/04/13	新規作成

Copyright © NEC Corporation 2011-2012. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

Citrix、XenDesktop、Citrix Receiver、ICA は Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、SQL Server、Windows PowerShell は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

VMware は VMware, Inc. の米国およびその他の国における登録商標また商標です。

SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter は日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本ドキュメントに記載されている社名や製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TM マークは本書に明記しておりません。

目次

はじめに	1
1. 用語の説明	2
2. 概要	3
2.1. システム概要	3
2.2. 全体機能概要	6
3. 運用手順	8
3.1. システムの起動と停止	8
3.1.1. 各コンポーネントの起動順序、起動方法	8
3.1.2. メンテナンスモードへの移行	9
3.1.3. 各コンポーネントの停止順序、停止方法	11
3.2. 仮想デスクトップ作成と登録	12
3.2.1. SigmaSystemCenter での仮想デスクトップ作成	12
3.2.2. 仮想デスクトップのユーザー割り当て	13
3.3. デスクトップ接続	14
3.3.1. Web ブラウザーを利用したデスクトップ接続	14
3.3.2. Citrix Receiver を利用したデスクトップ接続	17
3.3.3. Receiver for Mobile を利用したデスクトップ接続	20
3.4. 仮想デスクトップの削除	24
3.5. バックアップと復旧方法	24
3.5.1. バックアップ	24
3.5.2. 復旧方法	25
4. 障害対応	29
4.1. 障害発生時の対応について	29
4.2. ログの取得方法	29
4.2.1. XenDesktop	29
4.2.2. VPCC-XD Connector	30
4.2.3. クライアント端末	31
4.2.4. 仮想デスクトップ	31
5. エラーメッセージ一覧	32
5.1. XdcWI で表示するエラー一覧	32
5.2. XdcPNA で表示するエラー一覧	40
6. 注意事項	42

はじめに

対象読者と目的

「VPCC 4.1 + XenDesktop 5.5, 5.6 VPCC + XD (CMO 連携あり) オペレーションガイド」は、VPCC-XD Connector 4.0 (以下、VPCC-XD Connector) の運用操作、管理を行うシステム管理者を対象読者とし、それぞれの方法について説明します。

また、本書は VirtualPCCenter (以下、VPCC)環境での VPCC-XD Connector コンポーネント運用ガイドとして記載しております。

このため、本書にしたがって XenDesktop 5.5 もしくは 5.6 (以下、XenDesktop)および VPCC-XD Connector を構築する前に、VPCC 環境を用意いただく必要があります。

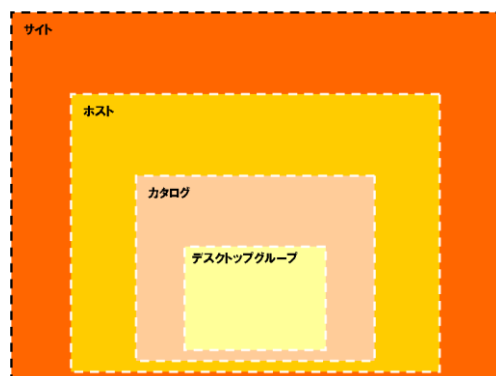
VPCC 環境の構築につきましては、以下のドキュメントを参照のうえ、事前にご準備ください。

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 構築手順書」

1. 用語の説明

本章では、本書に使用する用語について説明します。

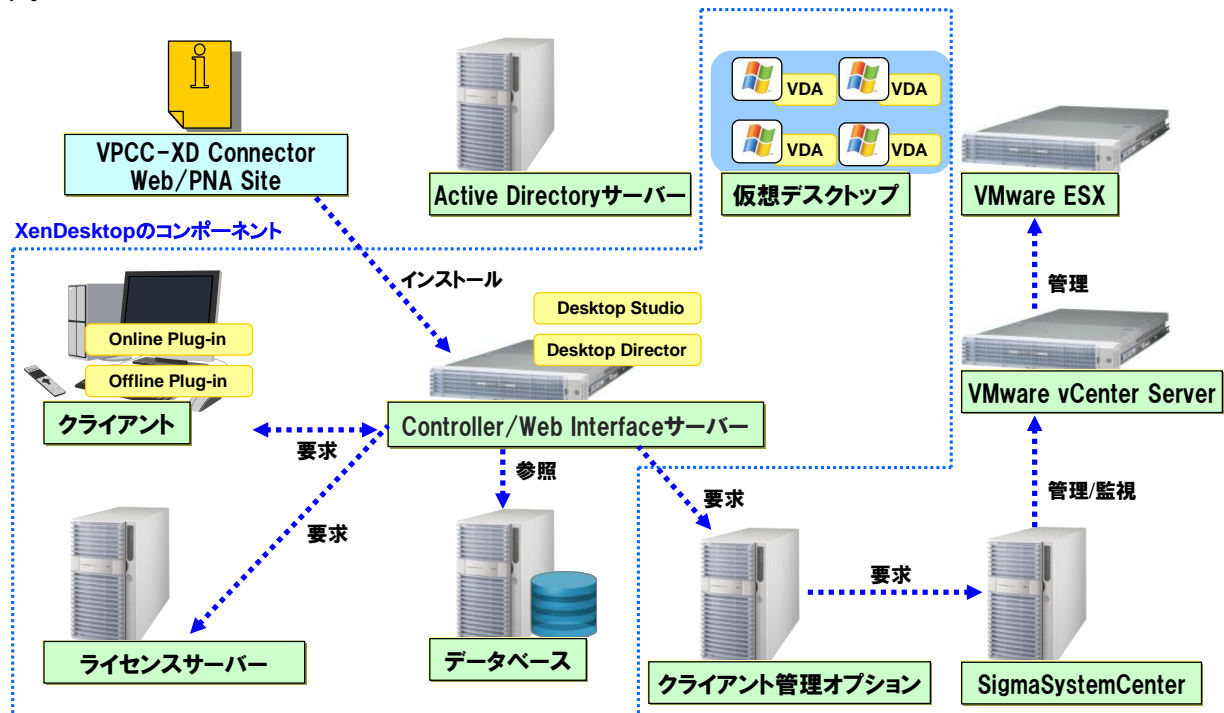
Controller (XenDesktop 4 での Desktop Delivery Controller)
Virtual Desktop Agent (以下、VDA)の状況を監視し、ユーザーからの接続要求があった際に適切な VDA を選択します。 また、VDA が動作する仮想マシンの電源制御は仮想基盤を介して行います。
Desktop Studio
デスクトップグループの作成、テスト、アップデートを 1 ヶ所で展開し、運用管理するコンソールです。
Virtual Desktop Agent (VDA)
仮想デスクトップ上にインストールするエージェントで、クライアント OS に対して ICA 画面転送セッションで遠隔操作するためのネットワークサービスです。
サイト (XenDesktop 4 でのファーム)
Controller、VDA の集まりです。 サイトではライセンス情報やデータベース情報を管理します。
ホスト
ホストは、ストレージを含めた仮想インフラストラクチャを管理する単位です。
カタログ
XenDesktop では「マシン」とも呼ばれます。 単一のエンティティとして管理されるユーザーデスクトップの集まりです。 カタログは、ユーザーのデスクトップ、仮想マシンまたは物理マシンに割り当てられた Active Directory コンピュータアカウントを指します。
デスクトップグループ
XenDesktop では「ユーザー割り当て」とも呼ばれます。 ユーザーに対するアクセス権を設定する単位です。 デスクトップグループでは、カタログを指定して接続可能なユーザーを設定します。
VPCC-XD Connector Web Interface (XdcWI)
Web ブラウザからアクセスでき、ユーザーに利用可能な仮想デスクトップを提供する Web サイトです。
VPCC-XD Connector PNA (XdcPNA)
Citrix Receiver からアクセスでき、ユーザーに利用可能な仮想デスクトップを提供する Services サイトです。
VPCC-XD Connector PNA for Mobile (XdcPNAforMobile)
Citrix Receiver からアクセスでき、ユーザーに利用可能な仮想デスクトップを提供する Services サイトです。
VPCC-XD Connector 自動接続機能
XdcWI で提供する機能です。 ユーザーが XdcWI にログインした際、利用可能なデスクトップグループが 1 つだけの場合に、自動で ICA 接続を開始します。



2. 概要

2.1. システム概要

本章では、VPCC-XD Connector に必要なコンポーネントの説明と、それぞれのシステム要件を記載します。



XenDesktop コンポーネントの説明

Controller / Web Interface サーバー
ユーザーを認証し、ユーザーのデスクトップ環境の構成を管理し、ユーザーと仮想デスクトップとの接続を仲介します。
データベース
XenDesktop サイトの静的なデータを管理します。 通常は Controller のサーバーに作成されますが、外部のデータベースを利用することも可能です。
Citrix ライセンスサーバー
Citrix 製品のライセンスを管理するコンポーネントです。
仮想デスクトップ
クライアントに配信する仮想 OS を指します。 仮想デスクトップには、VDA をインストールします。
クライアント
Controller / Web Interface を介して仮想デスクトップに接続するエンドユーザー端末を指します。

VPCC-XD Connector Web / PNA Site

XenDesktop の Web Interface にインストールするコンポーネントです。
クライアント管理オプションとの連携を実現し、ユーザーに対して VPCC 上で利用可能な仮想デスクトップとの接続を仲介します。

XenDesktop コンポーネントのシステム要件

Controller / Web Interface サーバー		
OS	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windows Server 2008 Standard または Enterprise Edition Service Pack 2 (32 ビット/64 ビット) Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard または Enterprise Edition (64 ビット) Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard または Enterprise Edition Service Pack 1 (64 ビット) 	
OS コンポーネント	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft .NET Framework 3.5 with Service Pack 1 Internet Information Services <ul style="list-style-type: none"> Microsoft IIS Version 7.0 (Windows Server 2008) Microsoft IIS Version 7.5 (Windows Server 2008 R2) Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージ Second Edition Microsoft Visual C++ Service Pack 1 再頒布可能パッケージ Microsoft Windows PowerShell version 2.0 <p>[XenDesktop 5.5 でライセンス管理コンソールを利用する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 7 以降 <p>[XenDesktop 5.6 でライセンス管理コンソールを利用する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 8 または 9 	
ディスク容量	Controller と SDK	100MB
	Desktop Studio	50MB
	ライセンスコンポーネント	40MB
	Web Interface	100MB
	VPCC-XD Connector	15MB

データベース	
Controller では、サイトデータベースとして次のデータベースを使用できます。	
Microsoft SQL Server	XenDesktop 5.5 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft SQL Server 2008 R2 Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition (自動でインストールされる) Microsoft SQL Server 2008 Service Pack 1 以降
	XenDesktop 5.6 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft SQL Server 2008 R2 Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition (自動でインストールされる) Microsoft SQL Server 2008 Service Pack 2 Microsoft SQL Server 2008 Service Pack 3 Microsoft SQL Server 2008 Express Edition Service Pack 1

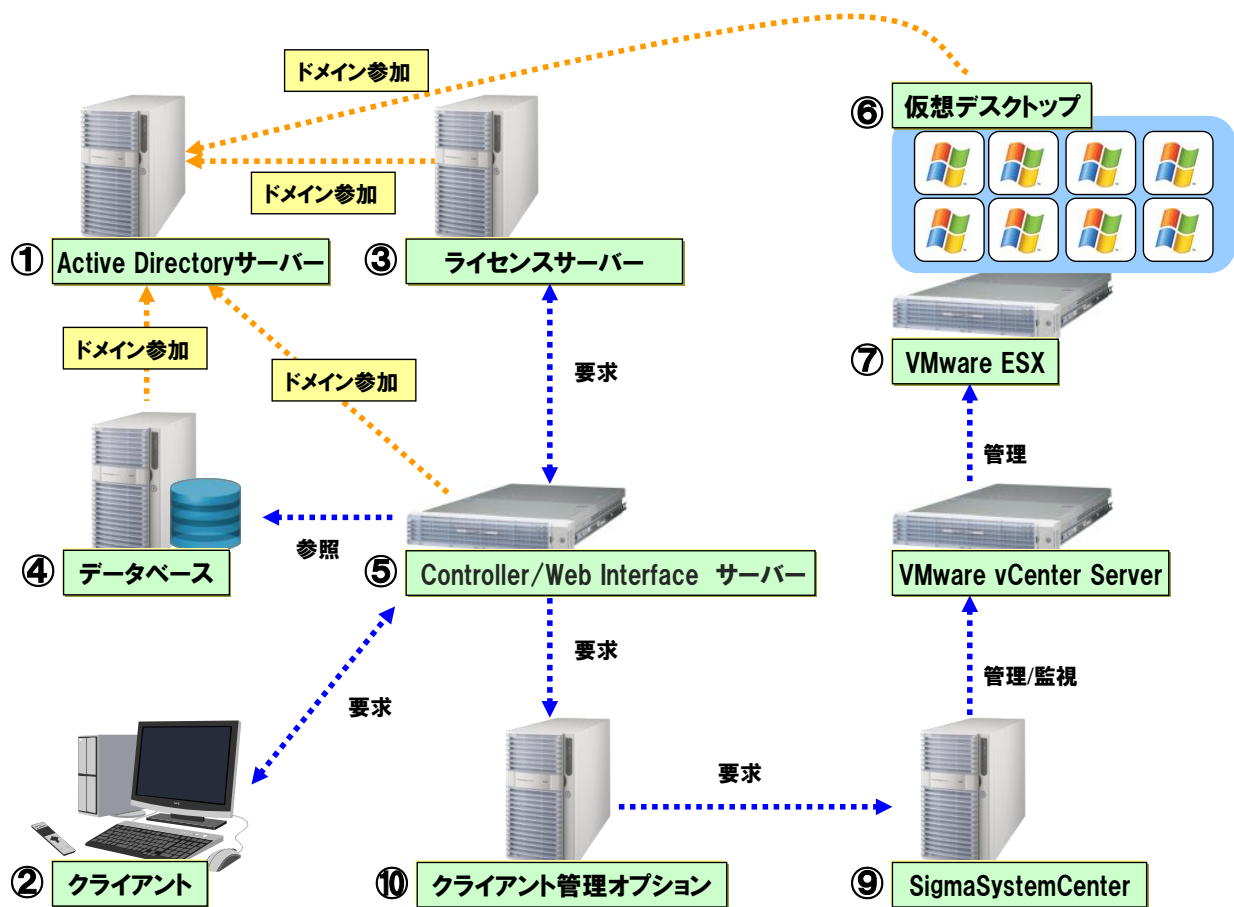
Citrix ライセンスサーバー		
バージョン	XenDesktop 5.5 ・ Citrix ライセンス 11.9	
	XenDesktop 5.6 ・ Citrix ライセンス 11.10	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Server 2003 ファミリー ・ Windows Server 2008 ファミリー ・ Windows Server 2008 R2 ファミリー ・ Windows 7 (32 ビット/64 ビット) 	
OS コンポーネント	XenDesktop 5.5 ・ Microsoft .NET Framework 3.5 ・ Internet Explorer 6～8	
	XenDesktop 5.6 ・ Microsoft .NET Framework 3.5 ・ Internet Explorer 6～9	
ディスク容量	ライセンスコンポーネント	50MB
	ユーザー/デバイスライセンス	2GB
注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ Citrix ライセンスサーバーは、マルチホームサーバー(複数のネットワークカードで異なるネットワークに接続するサーバー)上で使用することはできません。 ・ Windows 2003 を Citrix ライセンスサーバーとする場合、以下の更新プログラムをインストールしておく必要があります。 - Windows Server 2003 用セキュリティ更新プログラム (KB956572) 	

仮想デスクトップ	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 7 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows Vista Service Pack 2 以降 (32 ビット) ・ Windows XP Service Pack 3 以降 (32 ビット)
注意	Windows 7, Vista をご利用の際は、TCP/445 のポートをあらかじめ開放してください。ポートを開放していない仮想デスクトップには接続できませんのでご注意ください。

クライアント	
OS	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows 7 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows 7 Service Pack 1 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows Vista Service Pack 2 以降 (32 ビット/64 ビット) ・ Windows XP Service Pack 3 以降 (32 ビット) ・ Windows XP Service Pack 2 以降 (64 ビット) ・ Citrix Receiver for Windows 3.1 以上を搭載した専用端末
ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ Internet Explorer 7、8 ・ Firefox 3.6 – 4.0
端末	<ul style="list-style-type: none"> ・ LifeTouch (Citrix Receiver for Android) ・ iPhone (Citrix Receiver for iOS) ・ iPad (Citrix Receiver for iOS)

※ VMware ESX、VMware vCenter、SigmaSystemCenter、クライアント管理オプションについては、VPCC 4.1 の要件にしたがってください。

2.2. 全体機能概要



①Active Directory サーバー
<p>Active Directory は XenDesktop で必要です。 (XenDesktop 専用の Active Directory が必要ということではありませんので、既存の Active Directory が存在する場合は新規に作成する必要はありません。) Controller はドメインコントローラー上にインストールできません。</p>
②クライアント端末
<p>前述のシステム要件に応じたクライアント端末を用意します。 Active Directory ドメインに参加する必要はありません。</p>
③Citrix ライセンスサーバー
<p>前述のシステム要件に応じた Windows OS を用意します。 Citrix ライセンスサーバーとして専用のサーバーは不要です。Controller サーバーなどにインストールしても構いません。Citrix ライセンスサーバーを別立てする場合は、コンポーネントをインストールする前に Active Directory ドメインに参加させる必要があります。</p> <p>なお、XenDesktop のご利用に当たっては、<u>事前に Citrix 製品ライセンスファイルの取得が必要となります</u>。 Citrix 社サイト eDocs を参照いただき、製品のライセンスファイルを作成、ダウンロードしてください。 ・Citrix Product Documentation Library (eDocs) http://support.citrix.com/proddocs/topic/licensing-1110/nl/ja/lic-to-obtain-your-license-file-and-copy-to-server.html?locale=ja</p>
④データベース
<p>⑤の Controller をインストールしたサーバー上に作成することも可能です。 別サーバー上にデータベースを作成する場合は、Controller サーバーが参加する Active Directory ドメインに参加した後で必要なコンポーネントをインストールします。</p>
⑤Controller / Web Interface サーバー
<p>前述のシステム要件に応じた Windows OS を用意します。 あらかじめ Active Directory ドメインに参加した後、必要なコンポーネントをインストールしておきます。 Controller / Web Interface は同一サーバー内にインストールしてください。 Controller はドメインコントローラー上にインストールできません。</p>
⑥仮想デスクトップ
<p>仮想マシンインフラストラクチャ(VMware)上に、仮想デスクトップ用の仮想マシンを用意します。 これらの仮想マシンは Active Directory ドメインに参加させます。 仮想デスクトップとして利用するために、これらの仮想マシンには仮想デスクトップコンポーネント(VDA)をインストールします。 仮想デスクトップコンポーネントをインストールした仮想デスクトップは、SigmaSystemCenter を用いてテンプレート化しておくことで、以降の仮想 PC 展開を容易にできます。</p>
⑦VMware ESX
⑧VMware vCenter Server
⑨SigmaSystemCenter (以下、SSC)
⑩クライアント管理オプション
<p>以下の手順書にしたがって、事前に VPCC 環境を構築してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 構築手順書」</p>

3. 運用手順

本章では、システムの起動と停止方法、仮想デスクトップの作成および登録、仮想デスクトップへの接続方法、VPCC-XD Connector の復旧方法について記載します。

3.1. システムの起動と停止

3.1.1. 各コンポーネントの起動順序、起動方法

1. VPCC コンポーネントの起動
「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.1. システムの電源起動」を参照して、VPCC コンポーネントを起動してください。
 2. Active Directory の起動
Active Directory として使用しているサーバーを起動します。
ネットワークを開始してから次項のデータベースの起動を行なってください。
 3. データベースの起動
Controller のデータベースとして利用しているサーバーを起動します。
データベースを、Controller をインストールしているサーバーにインストールしている場合は、サーバーの起動は「5.Controller および Web Interface サーバーの起動」のときに行なってください。
 4. ライセンスサーバーの起動
ライセンスサーバーとして利用しているサーバーを起動します。
 5. Controller および Web Interface サーバーの起動
Controller / Web Interface をインストールしているサーバーを起動します。
- ※ Web Interface サーバー起動後の Web サイトへの初回アクセスは、Web サイトの再構築を実行するため
ログオン画面の表示に時間がかかります。

3.1.2. メンテナンスモードへの移行

VPCC-XD Connector の再インストール、VPCC のメンテナンスを行なう際にメンテナンスモードをご利用ください。

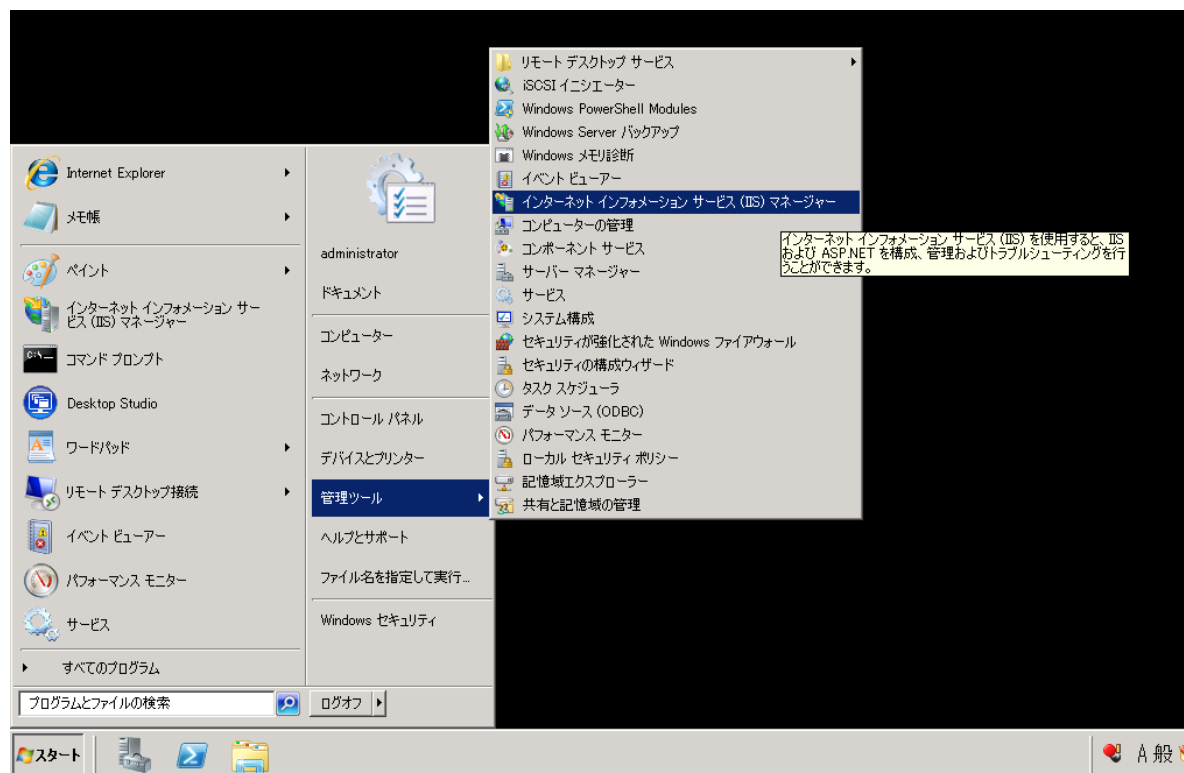
以下にメンテナンスモードへの移行方法を記載します。

1. 本書「3.1.1 各コンポーネントの起動順序、起動方法」を参照し、すべてのコンポーネントを起動してください。
すべてのコンポーネントが起動している場合はこの作業は不要です。

2. インターネットインフォメーションサービス(以降 IIS)のアプリケーションプールを以下の手順で停止します。

アプリケーションプールを停止することで、Web および Services サイトに接続できなくなります。
同じアプリケーションプールに VPCC-XD Connector 以外の Web サイトをインストールしている場合は、アプリケーションプールを停止してよいかどうかは Web サイト管理者と相談して決定してください。

[スタート] ⇒ [管理ツール] ⇒ [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] をクリックします。



3. IIS マネージャーが起動します。

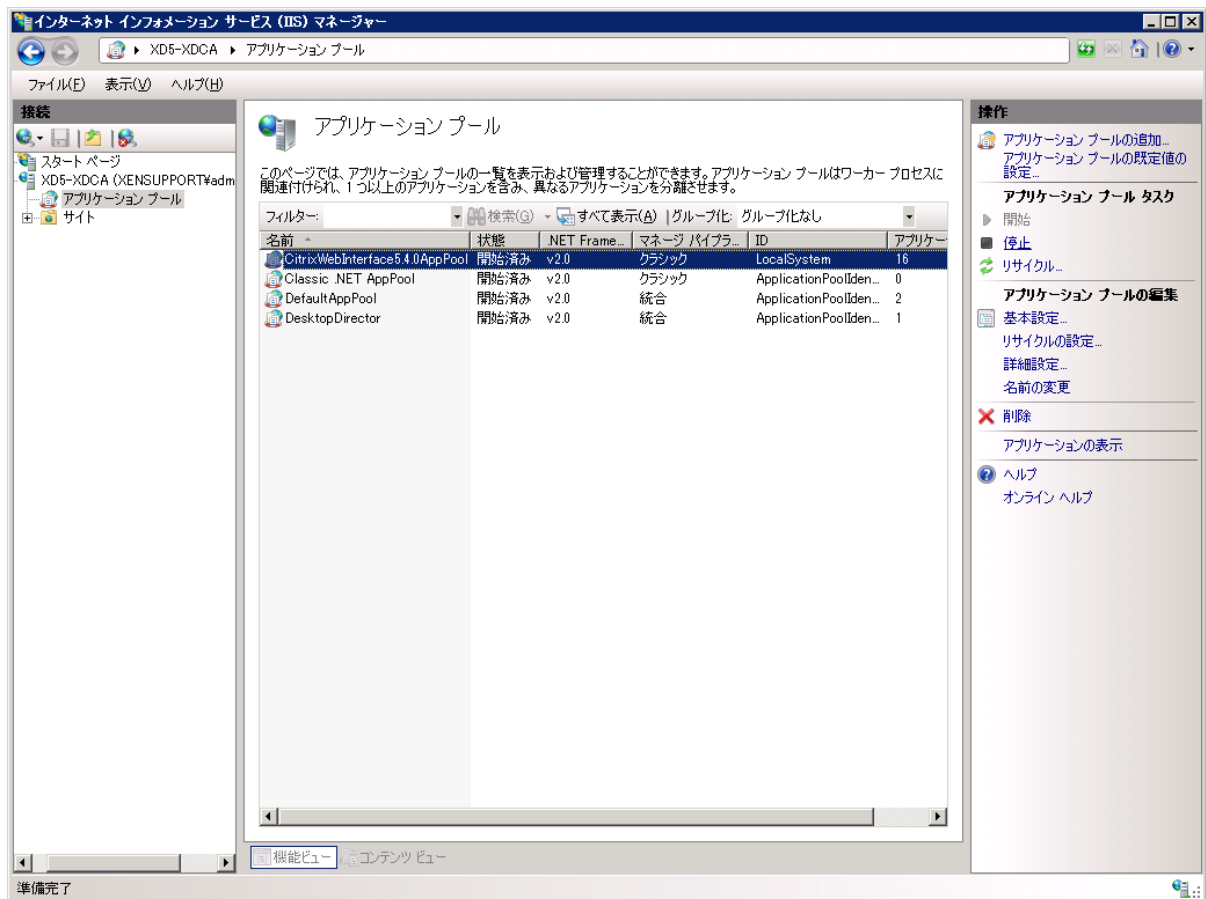
左ペインの[接続]からサーバー名を選択し、[アプリケーションプール]を選択します。

中央ペインの[アプリケーションプール]から、[CitrixWebInterface5.4.0AppPool]を選択します。

右ペインの[操作]から[停止]をクリックしてください。

アプリケーションプールを停止することで、クライアントから Web および Services サイトへアクセスが不可能になります。

メンテナンス作業を開始してください。



4. 通常運用モードへの移行

メンテナンス作業が完了し、通常運用を再開するには下記手順を実行してください。

2. の手順を実行し IIS マネージャーを起動してください。

左ペインの[接続]からサーバー名を選択し、[アプリケーションプール]を選択します。

中央ペインの[アプリケーションプール]から、[CitrixWebInterface5.4.0AppPool]を選択します。

右ペインの[操作]から[開始]をクリックしてください。

3.1.3. 各コンポーネントの停止順序、停止方法

一般的な VPCC-XD Connector の停止を行う方法を説明します。なお、各サーバーの管理者がいる場合には、管理者と相談のうえ、的確な操作を行ってください。

1. 仮想デスクトップのシャットダウン
「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.2.3. 仮想 PC の停止」を参照してください。
2. Controller / Web Interface のシャットダウン
ローカルコンソールまたはリモートデスクトップなどのリモート管理ツールから Controller / Web Interface がインストールされているサーバーにログオンしてください。
ログオン後、サーバーのシャットダウンを実行してください。
3. データベースのシャットダウン
ローカルコンソールまたはリモートデスクトップなどのリモート管理ツールからデータベースサーバーにログオンしてください。
ログオン後、サーバーのシャットダウンを実行してください。
※シャットダウン実行前に、データベースのバックアップを取っておくことを推奨します。
4. ライセンスサーバーのシャットダウン
ローカルコンソールまたはリモートデスクトップなどのリモート管理ツールからライセンスサーバーにログオンしてください。
ログオン後、サーバーのシャットダウンを実行してください。
5. ファイルサーバーなどのシャットダウン
ローカルコンソールまたはリモートデスクトップなどのリモート管理ツールからファイルサーバーにログオンしてください。
ログオン後、サーバーのシャットダウンを実行してください。
※シャットダウンの可否は、管理者と相談のうえ、状況に応じて判断してください。
6. Active Directory のシャットダウン
ローカルコンソールまたはリモートデスクトップなどのリモート管理ツールから Active Directory サーバーにログオンしてください。
ログオン後、サーバーのシャットダウンを実行してください。
※シャットダウンの可否は、管理者と相談のうえ、状況に応じて判断してください。
7. VPCC コンポーネントの停止
「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.2. システムの電源停止」を参照してください。

3.2. 仮想デスクトップ作成と登録

3.2.1. SigmaSystemCenter での仮想デスクトップ作成

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.3. 仮想 PC の作成」を参照してください。

注意: XenDesktop 上で扱えるデスクトップグループ名の文字数は 64 文字になります。

デスクトップグループ名は、SSC で扱う管理単位を用いて下記命名規則で作成されます。

[カテゴリ名]_[グループ名]_[モデル名]_[仮想 PC 名]

XenDesktop で扱える文字数を超えないようにするため、カテゴリ名、グループ名、モデル名、仮想 PC 名の合計文字数は 60 文字以内に収めてください。

また、カテゴリ、グループ、モデル、仮想 PC 名には下記記号以外の記号はご利用になれませんのでご注意ください。

- + @ , ! \$ %

例) カテゴリ名 : NEC
グループ名 : 開発部門
モデル名 : 占有 PC
仮想 PC 名 : Windows7
デスクトップグループ名: NEC_開発部門_占有 PC_Windows7

3.2.2. 仮想デスクトップのユーザー割り当て

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.5. 運用グループの作成」を参照してください。

注意: クライアント管理オプションの設定コンソール上で[サイト設定]が[固定 IP のみ]の場合は作成した仮想デスクトップには固定 IP アドレスを設定する必要があります。

その際、DNS の逆引き参照ゾーンに作成した仮想デスクトップの IP アドレスとホスト名を登録する必要があります。

下記に登録方法を記載します。

なお、クライアント管理オプションの設定コンソールの利用方法については、「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.1.5. クライアント管理オプション」を参照してください。

DNS サーバー上で、「スタート」-「管理ツール」-「DNS」を選択します。

ツリーから[DNS]、DNS サーバー名、[逆引き参照ゾーン]を選択します。

[逆引き参照ゾーン]の中に設定する IP アドレスが既に登録されている場合は、登録済みの IP アドレス情報をすべて削除してください。

[逆引き参照ゾーン]の配下になる対象逆引き参照ゾーンを右クリックし、[新しいポインタ]をクリックします。

[新しいリソースレコード]ダイアログが表示されます。

[ホスト IP 番号]に登録する仮想デスクトップの IP アドレスを入力します。

[ホスト名]に登録する仮想デスクトップのホスト名を入力します。

※ [ホスト名]には[参照]をクリックし、前方参照ゾーンからホスト名を選択することも可能です。

[ホスト IP 番号]と[ホスト名]の入力が完了したら、[OK]をクリックしてください。

以上で DNS への逆引き参照設定は完了です。

以上で仮想デスクトップ作成と登録は完了です。

次にデスクトップに接続する方法について記載します。

3.3. デスクトップ接続

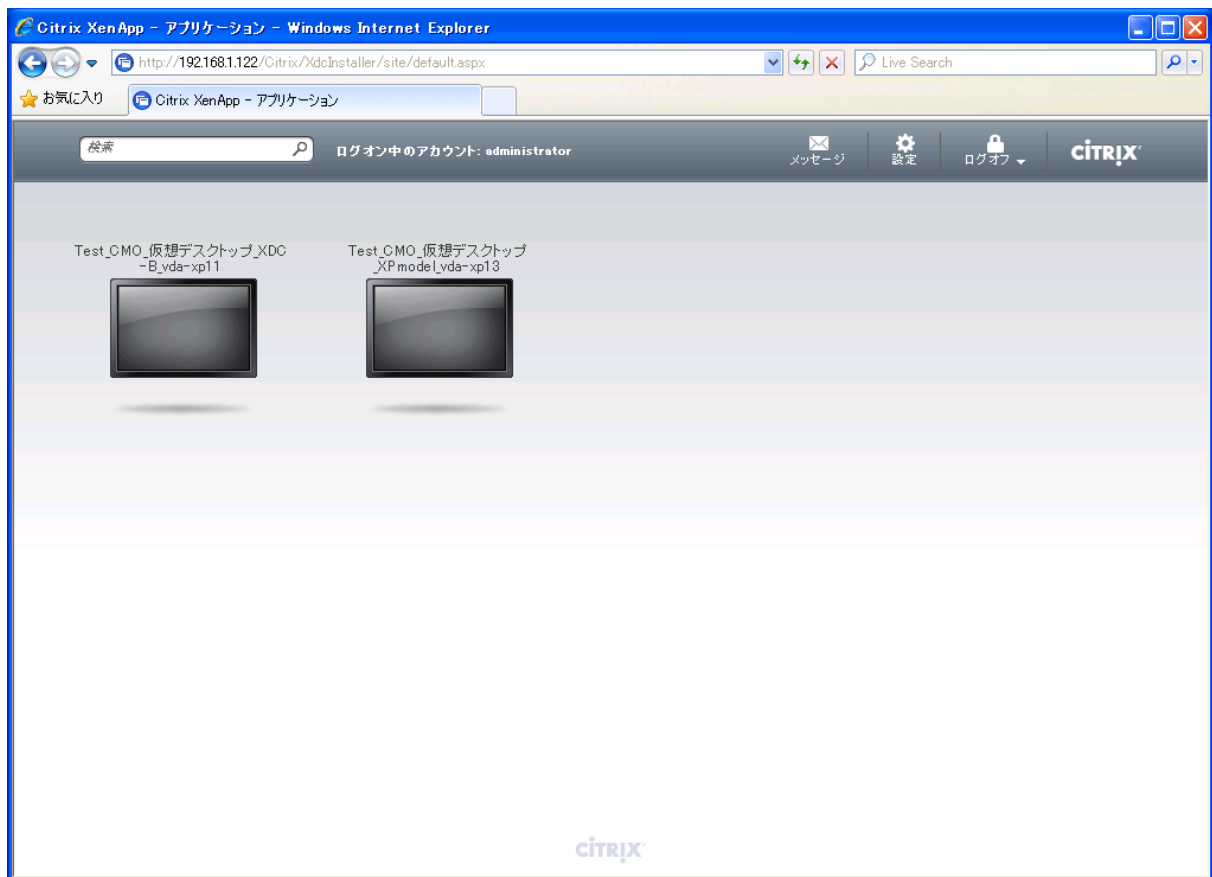
本節では、Web ブラウザーを利用したデスクトップ接続、Online plug-in、Receiver を利用したデスクトップ接続について記載します。

3.3.1. Web ブラウザーを利用したデスクトップ接続

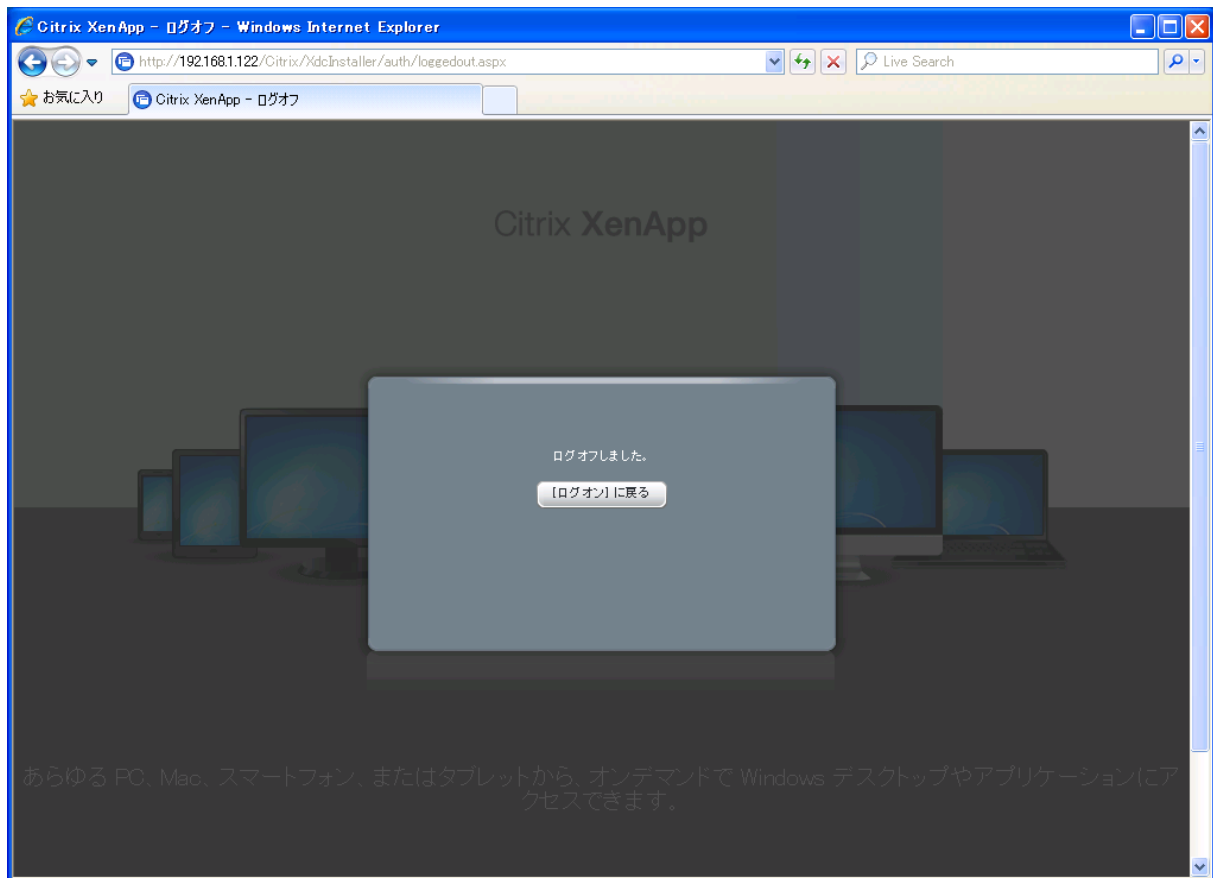
1. クライアントで Web ブラウザーを起動してください。
2. XdcWI の Web サイトにアクセスします。
ユーザー名とパスワード、ドメインを入力し、ログオンをクリックしてください。



3. ログオンが完了すると、デスクトップ一覧が表示されます。
接続するデスクトップをクリックしてください。

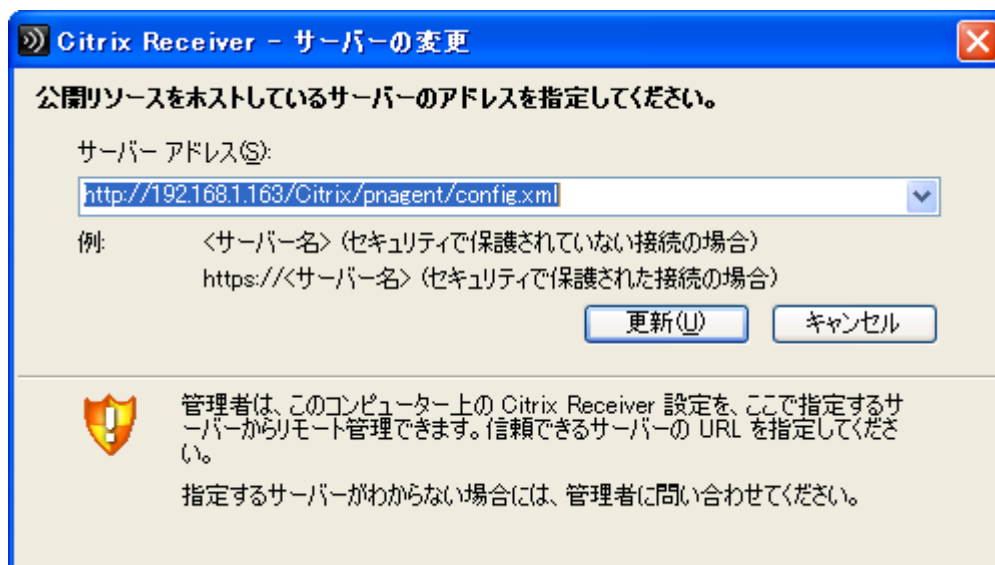


4. デスクトップの接続が完了すると XdcWI の Web サイトからは自動的にログアウトされます。



3.3.2. Citrix Receiver を利用したデスクトップ接続

1. Citrix Online Plug-in を起動してください。
2. サーバーの設定
タスクバーに Receiver のアイコンが表示されます。
アイコンを右クリックし、[サーバーの変更]をクリックしてください。
[サーバーの変更]ダイアログが表示されます。
サーバーアドレスに下記 URL を入力してください。
<XdcPNA のアドレス>/config.xml
入力が完了したら[更新]をクリックしてください。

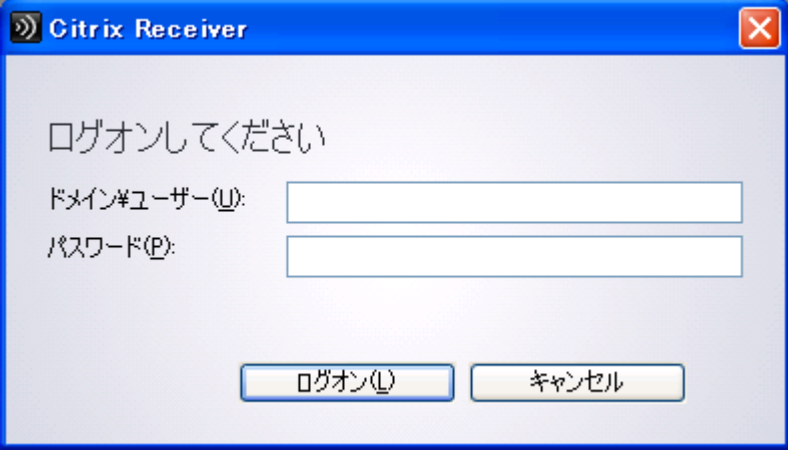


3. ログオン

タスクバーの Citrix Receiver アイコンを右クリックし、[オンライン セッション]→[ログオン]をクリックしてください。

[Citrix Receiver]ダイアログが表示されます。

ドメインユーザー名、パスワードを入力し、[ログオン]をクリックしてください。



The image shows a Windows-style dialog box titled "Citrix Receiver". The dialog has a blue header bar with the title and a close button (X). The main area is light gray and contains the text "ログオンしてください" (Please log on). Below this, there are two input fields: "ドメインユーザー名(U):" (Domain user name) and "パスワード(P):" (Password). At the bottom, there are two buttons: "ログオン(L)" (Log on) and "キャンセル" (Cancel).

4. デスクトップ接続

ログオンが完了すると、[すべてのプログラム]に接続可能なデスクトップが表示されます。

接続する仮想デスクトップをクリックしてください。

しばらくしたら、仮想デスクトップに接続されます。



3.3.3. Receiver for Mobile を利用したデスクトップ接続

本節では、Life Touch、iPhone、iPad を利用して仮想デスクトップに接続する方法を紹介します。

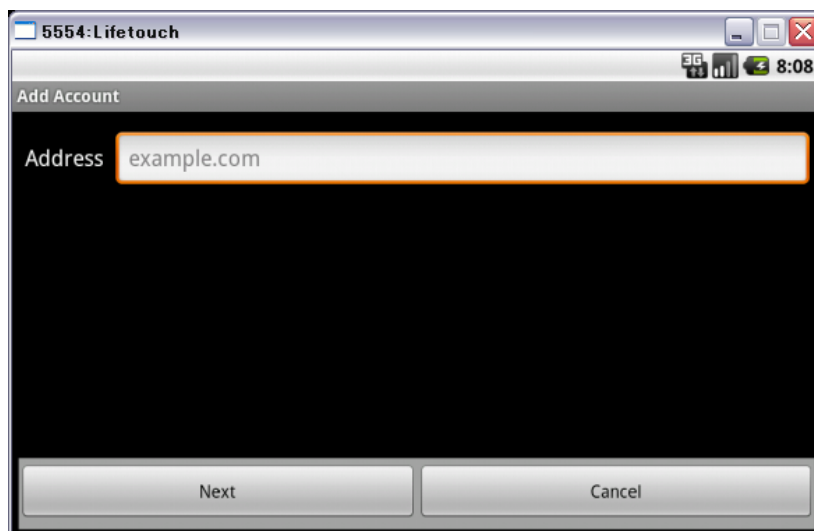
注意：本節で使用している画像内の用語は端末ごとに異なります。

また、Citrix Receiver アプリケーションのアップデートにより用語が変更される場合があります。
それぞれの端末で同じ意味をもつ単語に置き換えて操作してください。

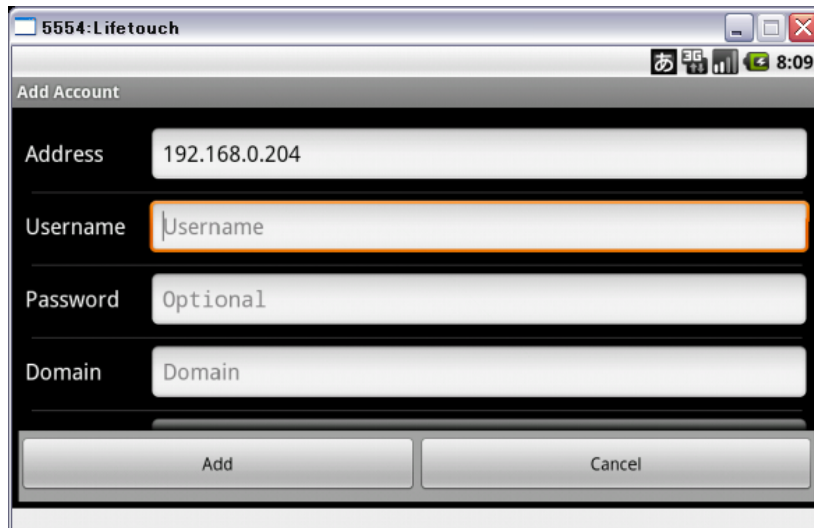
1. Citrix Receiver を起動してください。
[Set up my enterprise apps]をタッチしてください。



2. [Add Account]画面が表示されます。
[Address]に下記パスを入力してください。
<XdcPNAforMobile の URL>/config.xml
入力が完了したら[Next]をタッチしてください。



3. 入力した[Address]の確認が行なわれ、[Add Account]画面に入力箇所が追加されます。
[Username]にユーザー名、[Password]にユーザーのパスワード、[Domain]にユーザーが所属しているドメイン名、[Description]に[Citrix Receiver – Accounts]画面に表示するアカウント名を入力します。
入力が完了したら[Add]をタッチしてください。



The screenshot shows the 'Add Account' dialog box. The title bar says '5554: Lifetouch'. The status bar shows 'あ 3G 8:09'. The dialog has four text input fields: 'Address' with '192.168.0.204', 'Username' with 'Username' (highlighted with an orange border), 'Password' with 'Optional', and 'Domain' with 'Domain'. At the bottom are two buttons: 'Add' and 'Cancel'.

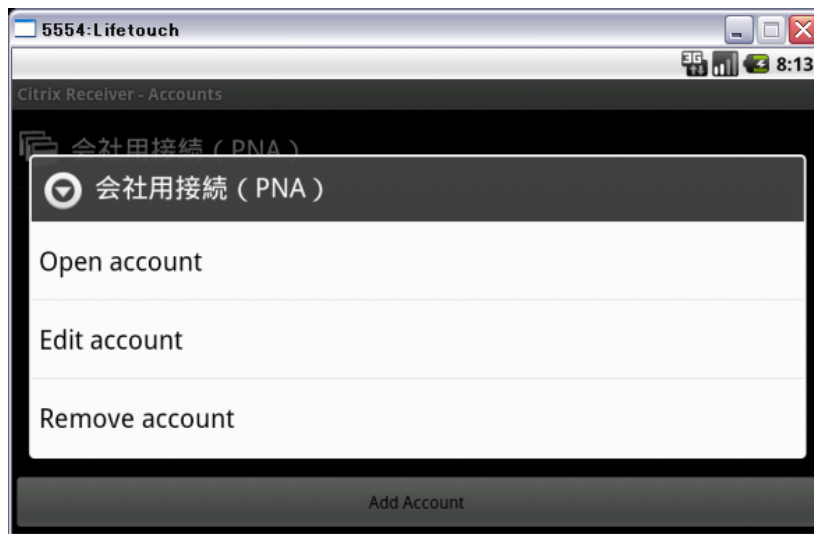
4. [Citrix Receiver – Accounts]画面が表示され作成したアカウントが表示されます。
このとき 3.で[Description]に指定したアカウント名が表示されます。
作成したアカウントをタッチしてください。



The screenshot shows the 'Citrix Receiver - Accounts' screen. The title bar says '5554: Lifetouch'. The status bar shows '3G 8:12'. The main area shows a folder icon and the text '会社用接続 (PNA)'. At the bottom is a button labeled 'Add Account'.

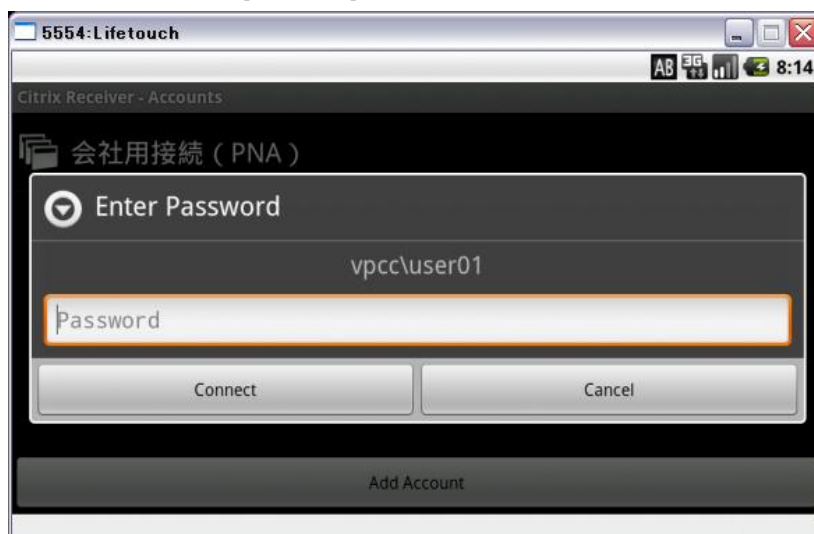
- ※ なお、1～3 までのセットアップを済ませておくと、以降は Citrix Receiver アプリを起動した際はこの画面から開始します。
アカウントを追加したい場合は[Add Account]をタッチし、2～3 の手順を実行してください。

5. アカウントの操作メニューが表示されます。
[Open account]をタッチしてください。

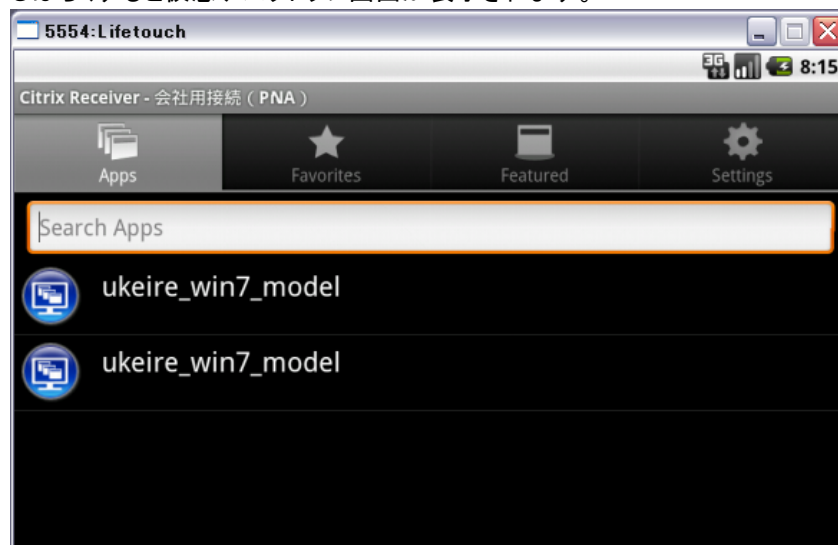


- ※ [Edit account]をタッチするとアカウント情報を変更できます。変更方法は 3.と同じです。
[Remove account]はアカウントを削除できます。

6. [Enter Password]ダイアログが表示されます。
パスワードを入力し、[Connect]をタッチしてください。



-
7. 仮想デスクトップ一覧が表示されます。
利用したい仮想デスクトップをタッチしてください。
しばらくすると仮想デスクトップ画面が表示されます。



デスクトップ接続の方法は以上で終了です。

3.4. 仮想デスクトップの削除

本節では、仮想デスクトップの削除方法を記載します。

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.6.8. 仮想 PC の削除」を参照してください。

仮想 PC の削除が完了したらクライアント管理オプションに削除情報の反映が必要です。

「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.1.5.7. 設定情報更新」を参照して、クライアント管理オプション上の情報更新を行ってください。

注意：設定情報更新を行なうと、クライアント管理オプション上で行なった割り当て情報がすべて削除されますので、ご注意ください。

3.5. バックアップと復旧方法

3.5.1. バックアップ

本節では、VPCC-XD Connector としてバックアップしておく情報を記載します。

- ・ コンフィグファイル

構築した XdcWI、XdcPNA、XdcPNAforMobile の各 Web サイトに保存されている設定ファイルをバックアップしておく必要があります。

保存されているフォルダとファイルは以下のとおりです。

<XdcWI ルートフォルダ>¥conf

- xdc.conf
- webInterface.conf

<XdcPNA ルートフォルダ>¥conf

- xdc.conf
- webInterface.conf

<XdcPNAforMobile ルートフォルダ>¥conf

- xdc.conf
- webInterface.conf

※なお、コンフィグファイルを復旧時に用いなかった場合、xdc.conf ファイルの再設定を行なう必要があります。

また、Web サイトの概観など、変更した設定がすべて初期状態に戻ります。

3.5.2. 復旧方法

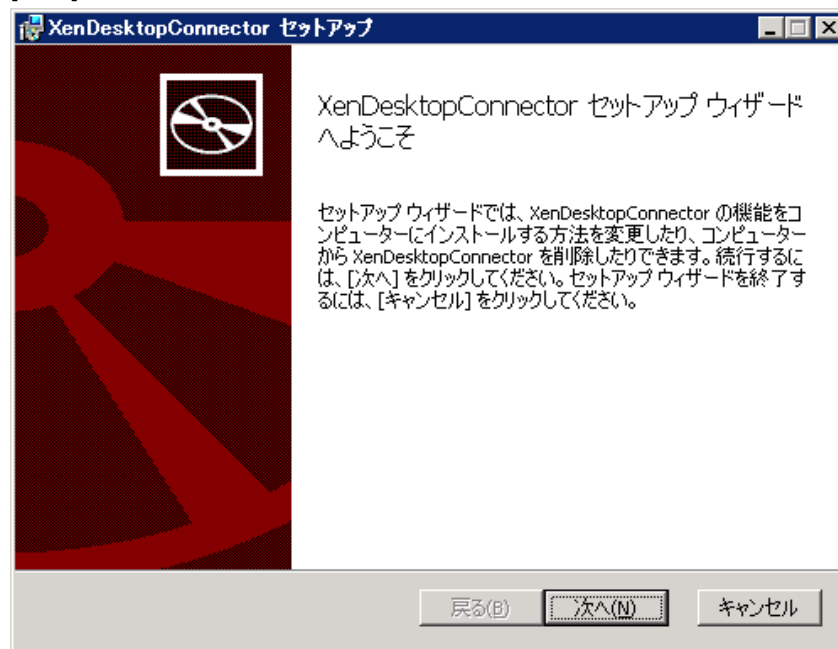
本節では、VPCC-XD Connector を復旧する手順を記載します。

1. VPCC-XD Connector のアンインストール

VPCC-XD Connector のインストーラーを起動します。

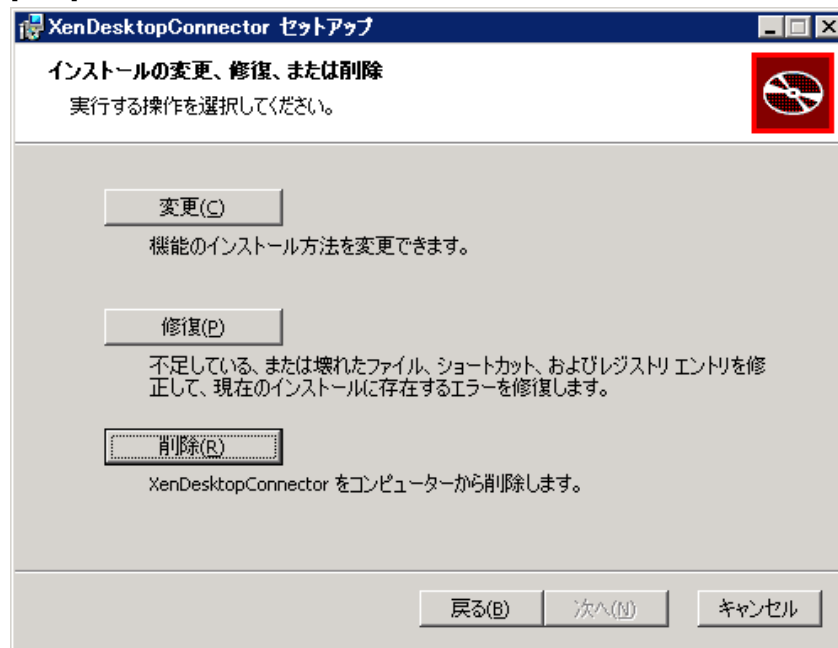
[VPCC-XD Connector セットアップウィザード]ダイアログが表示されます。

[次へ]をクリックしてください。

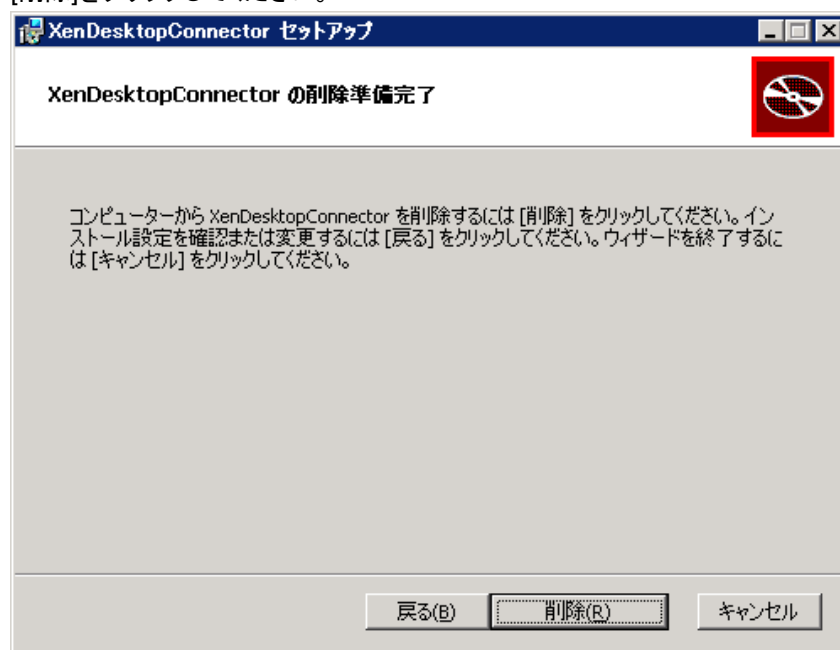


[インストールの変更、修復、削除]画面が表示されます。

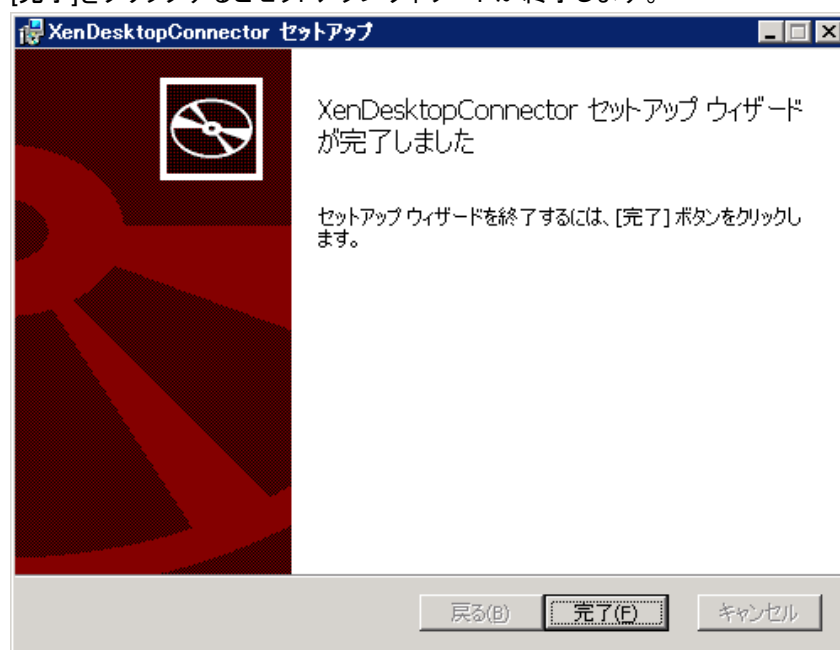
[削除]をクリックしてください。



[VPCC-XD Connector の削除準備完了]画面が表示されます。
[削除]をクリックしてください。



削除が完了すると完了画面が表示されます。
[完了]をクリックするとセットアップウィザードが終了します。



以上で VPCC-XD Connector のアンインストールは完了です。

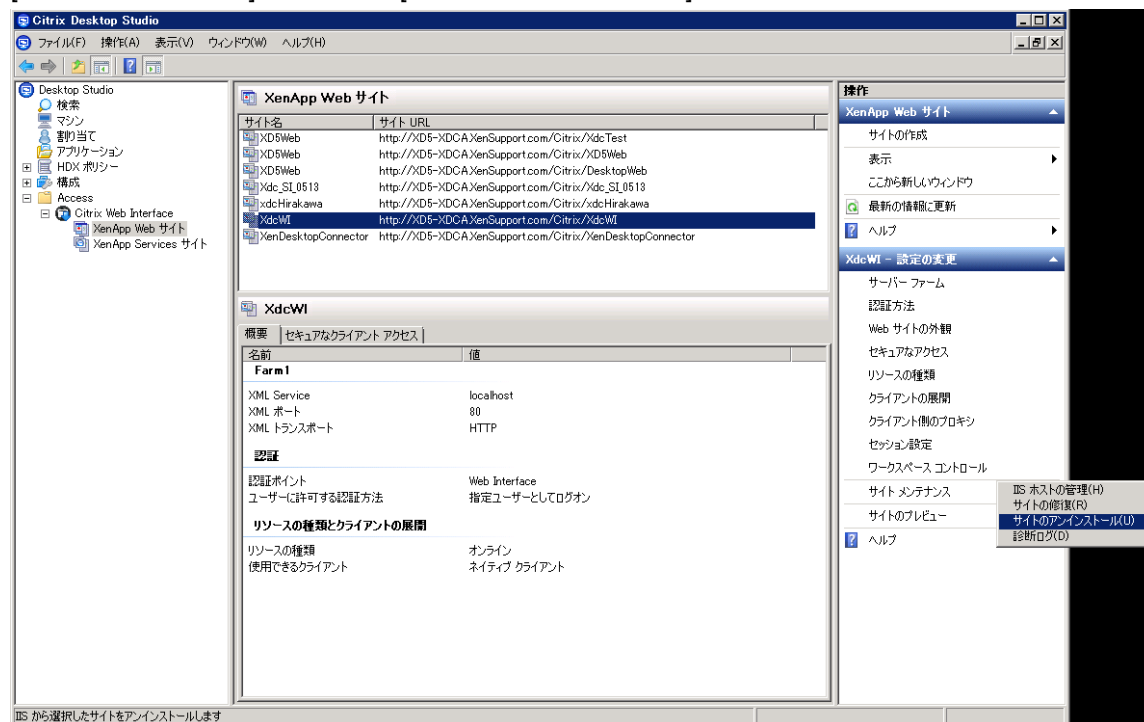
2. Web サイトの削除

Desktop Studio を起動してください。

Access タブ、Citrix Web Interface とダブルクリックしていきます。

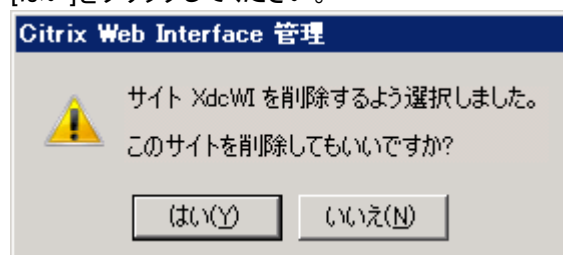
XdcWI をインストールした Web サイトを選択します。

[サイトのメンテナンス]をクリックし、[サイトのアンインストール]をクリックします。



[Citrix Web Interface 管理]ダイアログが表示されます。

[はい]をクリックしてください。



Web サイトの削除が完了したら削除を通知するダイアログが表示されます。

[OK]をクリックしてください。



XdcPNA および XdcPNAforMobile をインストールした Services サイトについても、[サイトのメンテナンス]から[サイトのアンインストール]を実行してください。

3. VPCC-XD Connector の再構築

「VPCC 4.1 + XenDesktop 5.5, 5.6 VPCC + XD (CMO 連携あり) セットアップガイド」の 7.2～7.3 節を参照してください。

4. バックアップ情報の反映

再構築した VPCC-XD Connector にバックアップした情報を反映します。

下記パスの各ファイルにバックアップした conf ファイルに置き換えてください。

<XdcWI ルートフォルダ>%conf

 xdc.conf

 webInterface.conf

<XdcPNA ルートフォルダ>%conf

 xdc.conf

 webInterface.conf

<XdcPNAforMobile ルートフォルダ>%conf

 xdc.conf

 webInterface.conf

バックアップした情報を再構築した VPCC-XD Connector に反映しない場合は、「VPCC 4.1 + XenDesktop 5.5, 5.6 VPCC + XD (CMO 連携あり) セットアップガイド」の「7.4. VPCC-XD Connector の初期設定」を参照して初期設定を行なってください。

4. 障害対応

4.1. 障害発生時の対応について

- ・ クライアント端末に、システム要件に含まれているものが利用されていないか確認をお願いします。
- ・ 本書 5 章に記載しているエラーが発生した場合は、5 章に記載しているエラーの対応方法のとおりに対応をお願いします。
- ・ その他のエラーが発生した場合についてはエラーメッセージの指示にしたがってください。

4.2. ログの取得方法

デフォルトでは、XenDesktop のログ機能が無効になっているため、必要に応じ手動でログ出力機能を有効にする必要があります。

4.2.1. XenDesktop

以下の手順で XenDesktop のログを出力できます。

1. 各コンポーネントに、ログファイルを格納するディレクトリを作成します。
(例) C:¥cds
2. 各コンポーネントのファイルを編集します。編集するファイルは以下のとおりです。
[Controller 側]
 - %PROGRAMFILES%¥Citrix¥Broker¥Service¥BrokerService.exe.Config
 - %PROGRAMFILES%¥Citrix¥MachineCreation¥Service¥Citrix.MachineCreation.SdkWcfEndpoint.exe.Config
 - %PROGRAMFILES%¥ADIdentity¥Service¥Citrix.ADIdentity.SdkWcfEndpoint.exe.Config
 - %PROGRAMFILES%¥Citrix¥Configuration¥Service¥Citrix.Configuration.SdkWcfEndpoint.exe.Config
 - %PROGRAMFILES%¥Citrix¥MachineIdentity¥Service¥Citrix.MachineIdentity.SdkWcfEndpoint.exe.Config
 - %PROGRAMFILES%¥Citrix¥Host¥Service¥Citrix.Host.SdkWcfEndpoint.exe.Config

上記の各ファイルについて、以下のとおり編集してください。

出力先のログファイル名(下記の"Broker.log")は、コンポーネントごとに任意のファイル名を指定してください。

[編集前]

```
<appSettings>
  <add key="LogToCDF" value="1"/>
</appSettings>
```

↓

[編集後]

```
<appSettings>
  <add key="LogToCDF" value="1"/>
  <add key="LogFileName" value="C:¥cds¥Broker.log"/>
  <add key="OverwriteLogFile" value="1"/> (*)
</appSettings>
```

(*)この一文を記載することで、各サービスの再起動後、ログが上書き保存されます。上書きが不要な場合は、省略可能です。

-
3. 各サービスを再起動します。

※参考:

ログ出力機能を有効にする詳細については以下をご参照ください。
「How to Enable Controller Service Logging in XenDesktop 5」
<http://support.citrix.com/article/CTX127492>

4.2.2. VPCC-XD Connector

以下の手順で VPCC-XD Connector のログを出力できます。

1. web.config ファイルの修正

<XdcWI をインストールしたフォルダ>¥web.config ファイルの下記パラメータを書き換えます。

変更前: <trace autoflush="false">

変更後: <trace autoflush="true">

変更前: <add name="DisplayTimeStamp" value="0" />

変更後: <add name="DisplayTimeStamp" value="1" />

変更前: <add name="Logging" value="0" />

変更後: <add name="Logging" value="1" />

変更前: <add name="DisplayThreadId" value="0" />

変更後: <add name="DisplayThreadId" value="1" />

また、下記のコメントアウトを削除し、initializeData というパラメータにログ出力ファイルパスを設定してください。

※ <!-- と --> を削除します。

<!--

<add name="fileListener" type="System.Diagnostics.TextWriterTraceListener"
initializeData="c:¥temp¥wi-debug.txt" />

-->

2. xdc.conf ファイルの編集

<XdcWI をインストールしたフォルダ>¥conf¥xdc.conf ファイルの下記パラメータを書き換えます。

変更前: logDebug=false

変更後: logDebug=true

変更前: logInfo=false

変更後: logInfo=true

- ※ XdcPNA および XdcPNAforMobile のログ出力設定は、<XdcWI をインストールしたフォルダ>部分をそれぞれの Services サイトのインストールフォルダと置き換えて web.config、xdc.conf の設定を変更してください。

注意 web.config、xdc.conf ファイルを変更後のクライアントからの初回アクセスは、Web サイトの再構築が行なわれるため、時間がかかります。

4.2.3. クライアント端末

以下のパスのログファイルで仮想デスクトップの接続記録を参照することができます。
%HOMEPATH%\Application Data\Citrix\ICAClient\wcfwin32.txt

4.2.4. 仮想デスクトップ

1. 各コンポーネントに、ログファイルを格納するディレクトリを作成します。
(例) C:\cds
2. 各コンポーネントのファイルを編集します。編集するファイルは以下のとおりです。
[VDA 側]
 - %PROGRAMFILES%\Citrix\Virtual Desktop Agent\WorkStationAgent.exe.config

上記のファイルについて、以下のとおり編集してください。

出力先のログファイル名(下記の"Broker.log")は、コンポーネントごとに任意のファイル名を指定してください。

[編集前]

```
<appSettings>  
  <add key="LogToCDF" value="1"/>  
</appSettings>
```

↓

[編集後]

```
<appSettings>  
  <add key="LogToCDF" value="1"/>  
  <add key="LogFileName" value="C:\cds\Broker.log"/>  
  <add key="OverwriteLogFile" value="1"/> (*)  
</appSettings>
```

(*)この一文を記載することで、各サービスの再起動後、ログが上書き保存されます。上書きが不要な場合は、省略可能です。

また、VDA 上で Citrix ICA サービス(PortICA)のログを有効にする方法もあります。

障害調査などの目的でログ採取を行う場合には、以下を参照し、PortICA のログも採取してください。

- ・ 「PortICA のログを有効にする方法」
<http://support.citrix.com/article/CTX119593>

5. エラーメッセージ一覧

本章では、各 Web・Services サイトで表示されるエラーメッセージと、エラーの対応方法について記載します。

5.1. XdcWI で表示するエラー一覧

No.	エラーメッセージ
1	アカウント情報が無効です。もう一度実行するか、システム管理者に連絡してください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
ユーザー名、パスワード、ドメイン名のいずれかが間違っている可能性があります。アカウント情報を確認し、ログオンし直してください。 アカウント情報を確認するにはシステム管理者に連絡してください。	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
アカウント情報を確認するには、Active Directory サーバーのアカウント情報を確認してください。	

No.	エラーメッセージ
2	利用可能なデスクトップの取得に失敗しました。Web ブラウザーを再起動してログオンし直してください。この問題が続く場合は、システム管理者に問い合わせてください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
Web ブラウザーを再起動し、ログオンしなおしてください。 問題が続く場合はシステム管理者に連絡してください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ ・ログオン時、仮想デスクトップ選択時のどちらでエラーが表示されたか	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
接続先のクライアント管理オプションサーバーと通信できていない可能性があります。通信状態を確認し、通信状態に異常がある場合は修復してください。 操作内容についてユーザーに確認してください。 仮想デスクトップ選択時にエラーが表示された場合は下記の対応もお願いします。 クライアント管理オプションサーバーと SSC サーバーが通信できていない可能性があります。通信状態を確認し、通信状態に異常がある場合は修復してください。 クライアント管理オプションの[設定コンソール]を起動してください。 接続先の仮想デスクトップのステータスを確認してください。 ステータスが「ストール」の場合は、仮想デスクトップを再起動してください。 仮想デスクトップの電源操作については、下記を参照してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.1.5. 仮想 PC の起動」 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.2.3. 仮想 PC の停止」	

No.	エラーメッセージ
3	現在利用可能なデスクトップは1台もありません。この問題が続く場合は、システム管理者に連絡してください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
利用可能なデスクトップ情報についてはシステム管理者に問い合わせてください。	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
<p>クライアント管理オプションの設定コンソールで接続先仮想デスクトップの電源状態を確認してください。 ストールになっている場合は仮想デスクトップを再起動してください。 仮想デスクトップの電源操作については、下記を参照してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.1.5. 仮想 PC の起動」 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.2.3. 仮想 PC の停止」</p> <p>DNS サーバーと DNS サービスが起動しているか確認してください。 クライアント管理オプションの[サイト設定]が[固定 IP のみ]になっている場合は、本書 3.2.2 節の注意を参照してください。</p>	

No.	エラーメッセージ
4	リソースにアクセスできませんでした。Web ブラウザーを再起動してログオンし直してください。この問題が続く場合は、システム管理者に問い合わせてください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
<p>Web ブラウザーを再起動して、ログオンしなおしてください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ</p>	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
<p>接続先のクライアント管理オプションサーバーと通信できていない可能性があります。通信状態を確認し、通信状態に異常がある場合は修復してください。 xdc.conf に設定した portNoCMO はクライアント管理オプションの[端末エージェント用ポート番号]と一致している必要があります。 下記手順で portNoCMO と[端末エージェント用ポート番号]の値を確認してください。 ・portNoCMO <xdcWI をインストールしたフォルダ>%conf%\xdc.conf をテキストエディタで開いてください。 portNoCMO の値を確認してください。 portNoCMO が存在しない場合は、接続先クライアント管理オプションサーバーのポート番号は「24577」になります。 ・端末エージェント用ポート番号 クライアント管理オプションの設定コンソールを起動する。 [構成情報]タブをクリックします。 左ペインのツリーから[登録済マネージャ]を右クリック → [マネージャ編集]をクリックしてください。 [マネージャ設定]画面が表示されます。 [端末エージェント用ポート番号]を確認してください。</p>	

No.	エラーメッセージ
5	現在、割り当てられているリソースがありません。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
利用可能なデスクトップはありません。 利用可能なデスクトップ情報についてはシステム管理者に問い合わせてください。	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
クライアント管理オプションの[設定コンソール]を起動します。 グループの接続先設定を確認してください。 グループの接続先設定を追加・変更する際は下記を参照してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.1.5.6. 接続先設定」	

No.	エラーメッセージ
6	要求されたリソースは既に使用中です。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
他のクライアントから既に Web サイトにログオンしています。 他のクライアントで Web サイトからログアウトすれば、ログオン可能になります。	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
多重ログオン防止機能がオンになっています。 多重ログオン防止機能がオンになっている場合は、ユーザーは複数のクライアントから Web サイトにログオンすることができません。 多重ログオン防止機能の設定はレジストリ値の書き換えで行ないます。 下記手順で設定を変更できます。 レジストリエディターを開く。 [LOCAL_MACHINE] ⇒ [SOFTWARE] ⇒ [NEC] ⇒ [CMO] ⇒ [CMODuplicateLoginDisable]の値を書き換える。 ON : 1 OFF : 0 ※レジストリの書き換えには十分に注意し、書き換えを行なう際にはバックアップを取っておくようお願いします。	

No.	エラーメッセージ
7	デスクトップの一覧の取得に失敗しました。Web ブラウザーを再起動してログオンし直してください。 この問題が続く場合は、システム管理者に問い合わせてください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
Web ブラウザーを再起動して、ログオンしなおしてください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
クライアント管理オプションを再起動してください。 クライアント管理オプションをインストールしているサーバーを再起動することでクライアント管理オプションは再起動可能です。	

No.	エラーメッセージ
8	デスクトップの一覧の取得に失敗しました。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
Web ブラウザーを再起動して、ログオンしなおしてください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
クライアント管理オプションを再起動してください。 クライアント管理オプションをインストールしているサーバーを再起動することでクライアント管理オプションは再起動可能です。 ※ クライアント管理オプション停止時はすべての仮想デスクトップが利用不可能になるので、十分に注意してください。	

No.	エラーメッセージ
9	リソースの接続に失敗しました。再選択してください。この問題が続く場合は、システム管理者に問い合わせてください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
デスクトップを再選択してください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ ・選択したデスクトップ名	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
クライアント管理オプションの[設定コンソール]を起動してください。 接続先の仮想デスクトップのステータスを確認してください。 ステータスが「ストール」の場合は、仮想デスクトップを再起動してください。 仮想デスクトップの電源操作については、下記を参照してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.1.5. 仮想 PC の起動」 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.2.3. 仮想 PC の停止」	

No.	エラーメッセージ
10	リソースの起動に失敗しました。再選択してください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
仮想デスクトップを再選択してください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
SSC 上で仮想デスクトップの電源操作に失敗しています。SSC のジョブ履歴を参照し、正しくジョブ登録・実行ができているか確認してください。 SSC の管理については、下記を参照してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.1. システム全体の管理」	

No.	エラーメッセージ
11	現在利用可能なリソースがありません。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
利用可能なデスクトップはすべて使用中です。時間をおいてログオンしなおしてください。	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
<p>利用可能な仮想デスクトップを増やす必要があります。</p> <p>仮想デスクトップの追加については下記を参照してください。</p> <p>「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.4. 運用グループの作成」</p>	

No.	エラーメッセージ
12	リソースの接続に失敗しました。再選択してください。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
<p>仮想デスクトップを再選択してください。</p> <p>問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。</p> <p>システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。</p> <p>・エラーメッセージ</p>	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
<p>クライアント管理オプションの[設定コンソール]を起動してください。</p> <p>接続先に仮想デスクトップのステータスを確認してください。</p> <p>ステータスが「ストール」の場合は、仮想デスクトップを再起動してください。</p> <p>仮想デスクトップの電源操作については、下記を参照してください。</p> <p>「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.1.5. 仮想 PC の起動」</p> <p>「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「3.2.3. 仮想 PC の停止」</p>	

No.	エラーメッセージ
13	現在利用可能な再起動対象のリソースがありません。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
利用可能なデスクトップはすべて使用中です。時間をおいてログオンしなおしてください。	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
<p>接続可能な仮想デスクトップを増やす必要があります。</p> <p>仮想デスクトップの追加については下記を参照してください。</p> <p>「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.4. 運用グループの作成」</p> <p>上記対応で問題が解決しない場合はクライアント管理オプションを再起動してください。</p> <p>クライアント管理オプションをインストールしているサーバーを再起動することでクライアント管理オプションは再起動可能です。</p> <p>※ クライアント管理オプション停止時はすべての仮想デスクトップが利用不可能になるので、十分に注意してください。</p>	

No.	エラーメッセージ
14	リソースの再起動に失敗しました。再選択してください。この問題が続く場合は、システム管理者に問い合わせてください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
仮想デスクトップを再選択してください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
SSC上で仮想デスクトップの電源操作に失敗しています。SSCのジョブ履歴を参照し、正しくジョブ登録・実行ができているか確認してください。 SSCの管理については、下記を参照してください。 「VirtualPCCenter 標準セットアップメニュー VirtualPCCenter 4.1 運用操作手順書」の「2.1. システム全体の管理」	

No.	エラーメッセージ
15	デスクトップに接続できませんでした。これは、標準の一時的な問題です。もう一度接続するか、問題が続く場合はシステム管理者に連絡してください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
仮想デスクトップを再選択してください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ ・仮想デスクトップ名	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
仮想デスクトップコンポーネントのセットアップが正しくできていない可能性があります。 下記を参照してセットアップしなおしてください。 「VPCC 4.1 + XenDesktop 5.5, 5.6 VPCC + XD (CMO 連携あり) セットアップガイド」の 8 章	

No.	エラーメッセージ
16	仮想 PC の登録情報に誤りがあります。選択したリソースは利用できません。システム管理者に問い合わせてください。
クライアント側（ユーザー）対応方法	
<p>システム管理者に問い合わせてください。</p> <p>システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーメッセージ ・選択した仮想デスクトップ名 	
サーバー側（システム管理者）対応方法	
<p>ユーザーから報告を受けた[選択した仮想デスクトップ名]から Controller の登録情報を確認します。</p> <p>対応時に必要な情報として、[デスクトップグループ名]と[デスクトップ名]があります。</p> <p>[デスクトップグループ名]は[選択した仮想デスクトップ名]、もしくは[選択した仮想デスクトップ名]の末尾の「_(アンダースコア)」以降の文字列を削除したのになります。</p> <p>[デスクトップ名]は[選択した仮想デスクトップ名]の末尾の「_(アンダースコア)」以降の文字列になります。</p> <p>例)</p> <p>[選択した仮想デスクトップ名] : Category_Group_Host_Machine</p> <p>[デスクトップグループ名] : Category_Group_Host_Machine もしくは Category_Group_Host</p> <p>[デスクトップ名] : Machine</p> <p>下記手順にしたがって対応作業を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Desktop Studio を起動してください。 2. 割り当てをクリックします。 3. [デスクトップグループ名]と一致するデスクトップグループをダブルクリックしてください。 4. [デスクトップ名]と一致するデスクトップを選択し、[メンテナンスモードを有効にする]をクリックしてください。 確認ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックしてください。 5. 同じデスクトップを選択したまま、[デスクトップグループから削除]をクリックしてください。 確認ダイアログが表示されますので、[はい]をクリックしてください。 	

No.	エラーメッセージ
17	サーバー ファームに接続できませんでした。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
システム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
<p><XdcWI をインストールしたフォルダ>%conf%\xdc.conf をテキストエディタで開いてください。 下記パラメータ以外が設定されている場合は修正してください。 ControllerCount=1 ControllerAddress0=127.0.0.1:80</p> <p>IIS マネージャーのアプリケーションプールの設定を確認してください。 確認および正しい設定方法については下記を参照してください。 「VPCC 4.1 + XenDesktop 5.5, 5.6 VPCC + XD (CMO 連携あり) セットアップガイド」の「7.2.1. XenDesktop Connector が動作するアプリケーションプールの設定」</p>	

No.	エラーメッセージ
18	重要なサーバー エラーが発生しました。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
<p>仮想デスクトップを再選択してください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ</p>	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
<p>IIS のアプリケーションプールの再起動が必要です。 アプリケーションプールの再起動中は、アプリケーションプールに含まれる Web サイトはすべてアクセス不可能になります。ご注意ください。 以下にアプリケーションプールの再起動手順を紹介します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート] ⇒ [管理ツール] ⇒ [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] をクリックして IIS マネージャーを起動します。 2. ツリー上から Web サーバーをクリックし、[アプリケーションプール]を選択してください。 3. [CitrixWebInterface5.4.0AppPool]をクリックして選択します。 4. 右ペインの[操作]から[停止]をクリックしてください。 5. 右ペインの[操作]から[開始]をクリックしてください。 <p>※停止に時間がかかるため、しばらく待ってから開始をクリックしてください。</p>	

5.2. XdcPNA で表示するエラー一覧

No.	エラーメッセージ
19	入力された資格情報は無効です。もう一度実行してください。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
ユーザー名、パスワード、ドメイン名のいずれかが間違っている可能性があります。アカウント情報を確認し、ログオンしなおしてください。 アカウント情報を確認するにはシステム管理者に連絡してください。	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
アカウント情報を確認するには、Active Directory サーバーのアカウント情報を確認してください。	

No.	エラーメッセージ
20	リモートサーバーでアプリケーション起動要求を実行できません。詳しくは、管理者に連絡してください。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
本書 5.1 節の No10 の対応方法を実践してください。	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
本書 5.1 節の No10 の対応方法を実践してください。	

No.	エラーメッセージ
21	ユーザーの要求を完了しようとして、Citrix サーバーでエラーが発生しました。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
アカウント情報を確認し、ログオンしなおしてください。 仮想デスクトップを選択していた場合は、再選択してください。 問題が続く場合はシステム管理者に問い合わせてください。 システム管理者に問い合わせる際は、下記点についてシステム管理者に報告してください。 ・エラーメッセージ ・ログオン時、仮想デスクトップ選択時のどちらでエラーが表示されたか ・仮想デスクトップを選択していた場合は選択した仮想デスクトップ名	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
本書 5.1 節 No.4 の対応方法を実践してください。 解決しない場合は、5.1 節 No.2 の対応方法を実践してください。 DNS サーバーと DNS サービスが起動しているか確認してください。 クライアント管理オプションの[サイト設定]が[固定 IP のみ]になっている場合は、本書 3.2.2 節の注意を参照してください。 なお、アカウント情報が間違っている場合も当該エラーが表示されます。 アカウント情報を確認するには、Active Directory サーバーのアカウント情報を確認してください。	

No.	エラーメッセージ
22	Citrix サーバーでアプリケーションは利用できません。または、指定されたユーザーにアクセス権がありません。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
本書 5.1 節の No.9, 16 に該当します。 5.1 節 No9 の対応方法を実践して問題が解決しない場合は、 5.1 節 No16 の対応方法の実践をお願いします。	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
本書 5.1 節の No.9, 16 に該当します。 5.1 節 No9 の対応方法を実践して問題が解決しない場合は、 5.1 節 No16 の対応方法の実践をお願いします。	

No.	エラーメッセージ
23	接続しようとしているデスクトップは、現在使用できません。 しばらくしてもう一度試すか、問題が解決しない場合は管理者に連絡してください。
クライアント側 (ユーザー) 対応方法	
本書 5.1 節の No.11, 12 に該当します。 5.1 節 No11 の対応方法を実践して問題が解決しない場合は、 5.1 節 No12 の対応方法の実践をお願いします。	
サーバー側 (システム管理者) 対応方法	
本書 5.1 節の No.11, 12 に該当します。 5.1 節 No11 の対応方法を実践して問題が解決しない場合は、 5.1 節 No12 の対応方法の実践をお願いします。	

6. 注意事項

【注意事項】

Citrix Web Interface の設定を一部利用できません。

Desktop Studio の Citrix Web Interface の各 Web サイトで設定する“ワークスペース コントロール”機能として以下の設定項目がありますが、いずれも VPCC-XD Connector では利用できません。

“ワークスペース コントロール”機能および各設定項目は、無効にしてください。

・「ワークスペース コントロールを有効にする」

“ワークスペース コントロール”機能を有効、無効を設定します。

・「ログオン時に自動的に再接続する」

ブラウザ上でのログオン時にデスクトップセッションへの自動再接続を行うかどうかを設定します。

・「再接続ボタン」

ログオン後のブラウザ画面での[再接続]ボタンの表示有無を設定します。

・「ログオフ」

ブラウザ上でのログオフ時にデスクトップセッションをログオフするかどうかを設定します。

複数のブラウザ画面で XdcWI を利用する際、非アクティブな画面で自動ログアウトする場合があります。

1 台のクライアント PC で同時に複数のブラウザ画面を起動してデスクトップ接続を行わないでください。

複数のブラウザ画面を起動して XdcWI にログインし、一方のブラウザ画面でデスクトップ接続を行った場合、他のブラウザ画面が自動的にログアウトする場合があります。

本現象が発生した場合は、ブラウザの更新ボタンをクリックするか、ログオフボタンをクリックしてください。

下記のブラウザで複数タブ、複数ウィンドウを使用した場合に、本現象が発生します。

Internet Explorer 7	複数タブ表示
Internet Explorer 8	複数タブ、複数ウィンドウ表示
Firefox 3.6、4	複数タブ、複数ウィンドウ表示

Citrix Receiver 利用時に、30 秒以内にサーバーからの応答がない場合エラーが表示されます。

Citrix Receiver を利用し、ログオン、仮想デスクトップ選択などの操作を行った際に、仮想 PC の起動処理などで時間がかかり、サーバーから 30 秒以内に応答が返ってこない場合、下記エラーメッセージが表示されます。

「Citrix Online Plug-in でサーバーと通信できません。ネットワーク接続を確認してください。」

本エラーメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンまたは[×]ボタンをクリックしてください。

Online Plug-in for Windows で処理の再実行を行います。しばらく経っても応答がない、あるいはログイン画面が表示された場合はもう一度操作を行ってください。